

01 デザインの価値を高めるために

浜松やその近郊で活動するデザイナー・クリエイターが活躍できる環境をつくるために、浜松市鴨江アートセンターを会場にしてデザインカンファレンスを開催するなど、様々な取り組みを行なっている「DORP」。これまでの活動や現在取り組んでいるプロジェクト、これからの「DORP」のあり方について考えていることをお聞きしました。



- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | |
1. DORP INSPIRATION2020 2. フリーペーパー『SOURCE』 3. 地元クリエイター74名の仕事を掲載した『HAMAMATSU DESIGN PARTNERS 2020』 4. プロジェクトから提案した「注染レター」 5. 鴨江アートセンターでの打ち合わせの様子

活躍できる環境を

DORP (Designer Open Resource Project 通称ドープ) は、デザイナーをはじめとした、地元浜松に関わりのあるクリエイターがつながり、活躍できる環境をつくることを目的に、2013年に発足しました。これまで、クリエイターへのインタビューをまとめたフリーペーパー『SOURCE』の発行、東京や大阪、福岡などのデザイナーを招いたデザインカンファレンス「DORP INSPIRATION」(2014年、2016年、2020年)を鴨江アートセンターで開催しました。また、静岡県西部を中心に活躍するデザイナーやイラストレーター、カメラマン、ライター、建築家などの仕事を紹介する『HAMAMATSU DESIGN PARTNERS』を制作、販売。クリエイターの協働や、企業案件の受注につながっています。地方都市においては、デザインやアイデアの価値が低く、制作単価も安い。そんな状況を変えていきたい、デザインの価値や役割をもっと高めていきたいという思いが活動の原点にあります。

伝統産業とデザイン

2020年には、浜松市とともに浜松注染染めのプロジェクトがスタート。コ



DORP
鈴木力哉(ウェブデザイナー)、宮下ヨシヲ(グラフィックデザイナー)、大杉晃弘(コピーライター)によって2013年に発足。地元デザイナーのポートフォリオ集『HAMAMATSU DESIGN PARTNERS』の発行、デザインカンファレンス「DORP INSPIRATION」の開催など、デザイナーをつなぎ、持てる力を最大化することを目的に活動を行う。また、「静岡県産品シンボルマーク」のディレクションなどにも携わる。
<https://www.dorp.jp/>

02 GOKINJO MAP

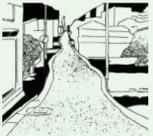
アーティストが浜松らしさと出会った場所

1. 自己紹介をお願いします。
2. 浜松に来たきっかけは何ですか？
3. 浜松らしさを感じた場所を教えてください。
4. ポイントは何でしたか？

A
鎗木麻美 <宙宙>
<https://www.chuchuworks.com/>

1. 人やモノ、自然の事象などを取り込みながら、その場から生えるようなインスタレーションを制作しています。2. ドイツから帰国して新たに暮らす街を探していて、生まれ育った環境に近い海のある街を選びました。3. 急勾配の坂
4. 浜松は急勾配の坂が多くあり、上から広がる景色を見ながら落ちていく感覚は、日常の中の非日常です。

急勾配の坂



B
戴周杰(たい しゅうき)

1. 映画を見たり、映像編集をしたり、映画・映像に関する展示やワークショップを企画したりしています。2. 鴨江アートセンター・木下恵介記念館に就職することをきっかけに、浜松にやってきました。3. スターバックスコーヒー浜松城公園店 4. 天竜材で作られた屋根と大きなガラスの壁がとても印象的で、自然に囲まれた非日常的な空間です。

スターバックスコーヒー 浜松城公園店



C
安村卓士
<https://twitter.com/natinal00>

1. 芸術作品でもあり、玩具でもある「おもちゃ作品」と自分で呼んでいる作品群の制作を行っています。2. 鴨江アートセンターのアーティスト・イン・レジデンスの募集を見たのがきっかけです。3. 寿月すみたや 4. 日本人形だけでなく、アナログゲームを大量に取り扱っていて楽しい店内。定期的にボードゲーム会が開かれています。参加してみるのがおすすめです。

寿月すみたや



◎：屋台置き場(屋台小屋)

D
桂川美帆
<http://miho-katsuragawa.com/>

1. テキスタイルアーティストです。主に「ろうけつ染」という手法で作品を制作しています。2. 夫の仕事の都合で、突然浜松への移住が決まりました。移住して3年目になります。3. 遠州織物会館(遠州織物工業協同組合) 4. 様々な「遠州織物」を購入することができ、掘り出し物にも出会えるワクワク感が魅力です。

遠州織物会館 (遠州織物工業協同組合) 中区山下町1-2



E
村上 亜沙美
<https://asamimurakami.com/>

1. 尾張町にある「みかわや|コトバコ」という場所で製本教室をしたり、本をつくったりしています。2. 結婚を機に、東京から浜松に引っ越してきました。3. 尾張町「天下堂洋菓子店」4. この街と一緒に生きている感じがする、昔ながらの洋菓子店です。買えるお菓子が懐かしくて優しく、時代を超えた味がします。2階の喫茶室も気に入っています。

天下堂洋菓子店



F
池田泰教

1. 映像作家です。ドキュメンタリー/フィクションといった映画作品を作っています。2. 静岡文化芸術大学で教員をすることになり、2019年に来ました。3. ゆりの木商店街のビルの屋上 4. 最近中は景が見られるような屋上ってあまりないですね。遠くと近くの間、風景があることをいつも思い出します。

ゆりの木商店街のビルの屋上



G
石井 紗和子
https://www.instagram.com/sawaco_sound/

1. キュレーターとして、音楽から文化や社会について考える場づくりをしています。2. 大学院卒業後、浜松市楽器博物館の学芸員になったことです。3. 新川橋 4. 脇に天使の像があり、人知れず楽しそうに音楽を奏でています。音楽を感じられるしかけが街の中にあるのが、浜松らしいと思いました。

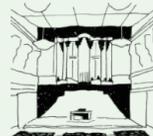
新川橋



I
ズキサチコ
<https://www.sachikosworks.com/>

1. 絵描き。油彩、水彩などで心象を描きます。こどもアトリエTetteでこどもたちと創作を楽しんでいます。2. 最初は仕事で。次はデートで。そして結婚を機に移住。磐田在住。3. アクトシティ浜松 4. 2018年春にピリスのコンサートを聴きに。震えるほどに素晴らしい。音楽の街を体感。

アクトシティ浜松



H
小田伊織
<http://odaiori.com/>

1. 漆造形作家です。漆芸の伝統技法を使って作品制作をしています。大学で教員もしています。2. 仕事の都合で2019年に移住しました。3. アクト通り 4. アクトタワーから続く通りの景色はとて素敵です。夜の景色も綺麗です。

アクト通り



屋台置き場(屋台小屋)



I
矢野 恵利子
<https://erikoyano.com/>

1. 現代美術家です。思考のガス抜きをしてもらえるような仕掛けをアート作品としてつくっています。2. 鴨江アートセンターで作品をつくりに来ました。3. 屋台置き場(屋台小屋) 4. 町毎に御殿屋台を持つ祭文化に魅力を感じます。小屋には個性もあるので見つけるとワクワクします。

